



# れんまがら

第64号 発行 令和6年 6月15日

## 令和6年度の活動に向かって

草津市ボランティア連絡協議会

会長 大脇 正美

今年度も引き続き、草津市ボランティア連絡協議会の会長を務めさせていただきます会長の  
大脇正美と申します。



令和6年度第38回の総会を終えることができました。

令和5年度はコロナウイルス感染症が第5類に移行されたことから行動制限が解除され、当草津市ボランティア連絡協議会も通常に戻すべく活動を行ってまいりました。予定していましたグループの会員交流会を開催することができ、会員相互の交流と皆様が楽しい1日を過ごすことができました。

残念ながら、館外研修は、相手先の選定の困難性において中止をせざるを得ないことになり、また新年交流会では、会員の参加が予定の人数より少ないことから、個人負担の増になることから中止をせざるを得ない状況となり、当初の目的を果たすことができませんでした。大変ご迷惑をお掛けしたこと申し訳なく思っています。

令和6年度は、グループを登録していただいた団体と連携しながら、会員相互の交流、事業活動を着実に実施していくとともに草津市ボランティア連絡協議会の更なる発展を願い事業活動してまいります。

各種ボランティアグループの皆様におかれましては、ボランティア活動を通じて、連携・交流を図りながら活動をより幅広く活動していくためにも、努力を積み重ねていただければと思います

今後とも、各種ボランティアグループの皆様のご助言、ご協力を賜り、ボランティア連絡協議会を遂行してまいる所存であります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## ご挨拶

草津市健康福祉部 部長 黒川 克彦

ボランティア連絡協議会の皆様方におかれましては、日頃より、地域における人々の助け合い・支え合いの社会を実現するため、福祉、環境、教育文化、まちづくりなど、様々な分野においてボランティア活動の輪を広げ、地域福祉の向上や明るく住みよいまちづくりの推進に御尽力いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、私たちの暮らしは、単身世帯の増加や働き方の多様化、インターネットの普及など、社会構造の変化により、家族や地域、職場などにおける人との「つながり」が希薄になり、孤独や孤立といった問題が社会問題化しています。

こうした状況を踏まえ、住み慣れた地域において、誰もが安心して心豊かに生活できるよう、地域が一丸となって支え合い、助け合う「地域共生社会」の実現に向けた取組を推進することがますます重要になってまいります。

本市におきましても、第4期地域福祉計画において「助け合い・支え合いを未来へつなげるまち～いつまでも健幸で地域力のあるまち草津をめざして～」を基本理念に掲げ、「地域共生社会」の実現に向けた各種施策に取り組んでまいりますので、今後ともより一層の御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、皆様方の御健勝と草津市ボランティア連絡協議会の益々の御発展を御祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。



## ご挨拶

草津市社会福祉協議会会長 清水 和廣

草津市ボランティア連絡協議会の皆様におかれましては、日頃より草津市社会福祉協議会の事業運営に多大なる御協力と御支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

近年、少子高齢化や核家族化の進展に伴い単身世帯の増加、家族や地域のかながりの希薄化など地域課題の複雑化、多様化が懸念されています。また、数年に渡るコロナ禍は、日常生活に大きな影響を及ぼし、生活様式の変化だけでなく、地域福祉活動の在り方についても変化を求められました。草津市ボランティア連絡協議会におかれましては、このような状況下に置かれま

しても、ボランティア活動等を通じて人と人との絆づくりに御尽力いただいておりますこと、本協議会といたしまして、たいへん心強く感じております。本会といたしまして、引き続きボランティア連絡協議会と密に連携いたしながら、第4次地域福祉活動計画に基づく各種福祉関連事業、そして、ボランティアセンター機能の強化に取り組み、人々がともに手を取り合い、つながりの輪を広げ、絆をつむぐことができる地域づくりを推進してまいりますので、皆様の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、草津市ボランティア連絡協議会の益々の御発展と、皆様の御活躍、御多幸を御祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。



# 令和6（2024）年度 草津市ボランティア連絡協議会

## 第38回総会を終えて

令和6年度第38回草津市ボランティア連絡協議会の総会が令和6年5月22日（水）に草津市立市民総合交流センター（キラリエ草津）で開催されました。

総会にはご来賓として草津市から橋川 渉市長様、健康福祉部の黒川 克彦様、草津市社会福祉協議会の永池 孝志事務局長様のご臨席のもと、草津市では、「助け合い・支え合いを未来へつなげるまち～いつまでも健幸で地域力のあるまち草津をめざして～」地域共生社会の実現に向けて取り組んでまいりますので、草津市ボランティア連絡協議会のより一層のボランティア活動の輪を広げ、地域福祉の向上や明るく住みよいまちづくりの推進に向けて取り組んでいただきたいとあたたかい激励のお言葉を頂戴いたしました。



草津市ボランティア連絡協議会の活動の広がり充実を求めて、環境ボランティア草津護岸コハクチョウを愛する会」団体代表の吉岡 美佐子様を議長に選出していただき、令和6年度事業計画、予算を承認していただき、総会を終えることができました。

総会での承認事項は、

- ・令和5年度活動報告・会計決算報告・会計監査報告について
- ・令和6年度事業計画（案）・会計予算（案）について
- ・令和6年度の役員体制について

それぞれの項目について承認されました。

### ◆令和6（2024）年度 事業計画

5月22日（水） 令和6年度草津市ボランティア連絡協議会 第38回総会  
9月25日（火） 会員研修会・交流会（キラリエ草津 6階 大会議室）  
11月 中旬 研修会

### ◆令和6（2024）年度 役員体制（任期 2023.05.22～2025.05.総会まで）

会 長 大脇 正美（草津市災害ボランティアコーディネーター会）  
副会長 河瀬 克己（青春歌声しゃぼん玉）  
副会長 田淵 稔子（Vメロン）  
会 計 井上 修一（桜プロジェクト われら活動隊）  
監 査 川那部光子（のんたんひろっぱ）  
監 査 松田 由美（草津点字グループ あゆみ会）

## 新しい登録団体のご紹介

## 2 団体

### ■ 明るい不登校 代表 山本りか

不登校の孤立や孤独予防のため、保護者支援と子どもの居場所を開催しているピアサポートグループです。

下記の URL からホームページを閲覧できます

<https://akarufutoko.hp.peraichi.com/>



### ■ のびのび子ども食堂 代表 梅田 由佳

渋川小学校・学区の「のびのび どもども食堂」は、子どもが一人でも安心して参加してもらえる食堂です。皆んなで温かいご飯を食べたり、遊んだり、“のびのび”と”ワイワイ”と過ごしてもらえる場を目指しています。



発行／草津市ボランティア連絡協議会

〒525-0032 草津市大路二丁目1番35号

市民総合交流センター（キラリエ草津）4階 草津市社会福祉協議会内

TEL 077-562-0084 FAX 077-566-0377